

可茂地区家庭教育学級応援通信

可茂県事務所 振興防災課
〒505-8508
美濃加茂市古井町下古井 2610-1
TEL : 0574-25-3111 内線 208
FAX : 0574-25-3934
家庭教育推進専門職 安田

ワーク・ライフ・バランス思考で、
楽しく豊かな子育てを！

令和7年度
6月号 No.3

いいかも



令和7年度可茂地区トレジャーワード

育もう豊かな感性 ～泣いて、笑って、ともに歩もう～



「いいかも」
こちらから



美濃加茂市・可児市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町

可茂地区で子育てに関わる皆さま



令和7年度可茂地区家庭教育学級リーダー研修会 ご意見を寄せてくださり、ありがとうございました！



学びのある家庭教育学級を目指し実施したリーダー研修会、多くの皆様に参加していただきました。アンケートにもご協力いただき、ありがとうございました。寄せられたご意見を集約いたしました。よりよい研修会及び家庭教育学級の運営を目指し、成果と課題を次年度に繋いでまいります。

1 研修内容（研修資料）についてお尋ねします。本日の研修はいかがでしたか？

	幼・保・こ園	小・中学校
満足	58%	66%
おおむね満足	42%	33%
やや不満足		1%
不満足		



2 実践発表はいかがでしたか？

※一部オンラインに不具合が生じ、皆様にご心配やご迷惑をお掛けしました。

※聞き取りづらい部分があったため、「多少」「参考にできそうにない」と回答された方がおられました。

	幼・保・こ園	小・中学校
参考にできそう	44%	62%
おおむね参考にできそう	42%	30%
多少、参考にできそう	12%	8%
参考にできそうにない	2%	

3 実践発表について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

七宗町立七宗第1保育園「親子すっきりおめざめプロジェクト」

- *発表ありがとうございました。小中合同の取組は、とても参考になりました。自分達の活動に取り入れたいと思います。
- *普段の生活から取り組むことができる内容でよかった。保護者の負担にならない活動なので参考にしたいです。
- *何をしたらいいか、あまりイメージが湧いていなかったのも、こういうことをしたらいいのだと、すごく勉強になりました！
- *子どものやる気や親子のコミュニケーションにつながるのも、とてもよい取組だと思います。
- *すっきりおめざめプロジェクトに取り組む事で、生活習慣の改善ができることに加え、親子のコミュニケーションをとれる事が何よりもよいことだと思いました。
- *シール貼りは楽しく、かつ簡単にできるので参考にしたいと思います。親子の交流ができるように工夫してあるのがいいなと思いました。
- *在宅の取組で、子どもたちの目当てを大事にしてみえた所がよいと思いました。シールを使ったことで、パッと見れば、できたことが分かりやすく、子どもたちの前向きな気持ちを引き出しながら、取り組んでいたところが素敵でした。家庭教育通信も大変ですが、素晴らしい取組だと思います。
- *子どもが大きくなってきて、働き方が変わって家庭教育学級に参加できない保護者が増えていく中で、こういった家庭でできる取組はありがたいですし、楽しいなと思いました。



美濃加茂市立下米田小学校「親と子の心の交換日記」

- *子どもと保護者が心で繋がれる、とてもすてきな取組でした。本校でもやれたらよいなあと感じました。取り組みやすく、思い出として残ることも素敵です。
- *交換日記は親子の会話や気持ちを伝え合うとてもよい機会だと感じました。子どもと親との受け取り方の違いを調べていた点も、素晴らしいアイデアでした。
- *親と子が日記を通して気持ちを伝え合うという取組はとても温かく、素晴らしいと思いました。普段の会話ではなかなか伝えられない思いや感謝の気持ちが、文字にすることで素直に表現できる良い機会になっていると感じます。
- *とても素敵なアイデアだと思います。文にすると心の中の正直な気持ちが出て、相手の心にも響きやすく親子の関係もグッと深まる気がしました。親子で交換日記というものは、機会をもらわないとできないことのように思うので、とても良いことだと思いました。子どもも家族も嬉しい気持ちになると思います。
- *交換日記を実践するだけでなく、実践前と後の検証まで行われていて素晴らしいと感じました。イラストありで、とても温かみを感じました。ぜひやってみたいです。
- *親子での交換日記は、「素敵だなあ」と思っても、なかなか親子の中から自発的に取り組めるものではないと感じます。その意味で、家庭教育学級がそのきっかけをつくり、親子の信頼が深まるのが素晴らしいと思いました。



東白川村立東白川中学校「親子情報モラル教室」

- *自校でも情報モラルを学んでいます。デジタル社会の今、子どもたちに知識として教えるのはとても大事だと思うので、これからも続けていきたい。今日の発表を聴いてより強く思いました。
- *親子で共に参加できる講演会だと、家庭で、共通の話題として子どもと振り返りができるので、わが校でも何かできないか考えてみたいと思います。
- *スマートフォンや SNS が身近な存在となっている今、親子で情報モラルについて考える機会はとても意義深いと思います。東白川中学校の「親子情報モラル教室」は、子どもたちだけでなく保護者も一緒に学ぶことで家庭内でのルール作りや話し合いのきっかけになる良い取組だと感じました。
- *情報モラルは、今の子供たちを取り巻く社会を考えれば早いうちから教えていかなければいけないことだと思います。知らないために人を傷つけたり、自分がトラブルや犯罪に巻き込まれたりしないように知らせることは、親を始め、社会の責任だとも思いました。
- *『親子情報モラル教室』は、少人数校ならではの実践で、少し羨ましくも感じました。親だけが聴いても子どもに伝えにくいし、子どもだけが聴いてもどう捉えたか分からないので、一緒に聴いて話す機会がいいなと思いました。
- *情報モラルについては、やはり親子で共通の学びの場が必要だと感じました。参考にして本校の PTA でも取り入れていきたいです。教育委員会のタイアップも素晴らしいと思いました。(教育と行政の連携がいいな。)



※各々、アンケートより、抜粋させていただきました。

七宗第1 保育園様、下米田小学校様、東白川中学校様、多くの学びをいただきました。

貴重な実践の発表、ありがとうございました。

4 本研修で取り入れたいことは見つかりましたか？

	幼・保・こ園	小・中学校
見つかった	46%	50%
部分的に取り入れたい	52%	49%
あまり見つからなかった	2%	1%



5 本研修や家庭教育学級の運営について意見・感想等お聞かせください。

- *園と保護者の方とが一緒に聴くことで、研修の内容や家庭教育学級の運営について共有することができた。
- *子ども達のために何をすべきか、他園の活動を参考にすることができたので、とっても有意義な時間になった。
- *今後行事を行っていく上で参考になる部分が多かった。取り入れていきたいと思った。研修会に参加出来てよかった。
- *お父さんが支援センターに行ったり、家庭教育学級に参加したりというのはとてもいい取組だなと思う。
- *初めて家庭教育学級というものに入り、こういうことをしているのだということがよくわかった。子どもの話や親の相談も増え、園との関わりについても「こうしたい」という要望ができたのがうれしい。
- *改めて、親子の時間を大切にもちたいと感じた。日々の忙しい時間の中でも、親子読書や生活習慣の取組を親子で行うことで、親子の絆を深めると共に、子どもの自立も促せる大事な取組だと感じた。これからもたくさん親子での時間を増やして、たくさん愛情を伝えていきたい。
- *このような会が開催され、家庭教育学級の必要性や在り方を保育関係者や保護者の方が共に学ぶことのできる有意義な時間だと思った。
- *年間計画がほぼ決定している時点での研修だが、部分的に取り入れれたり、型を組み合わせたりする部分が見つかった。
(幼・保・こ園リーダー研修会より)
-
- *この会が、各校の取組を知るととてもよい場となっている。
- *子ども、親、学校がつながり、楽しい会ができるとよいと思う。
- *活動の目的を周知し、保護者・児童の主体性を引き出す取組を楽しくやっていきたい。
- *家庭教育学級の在り方、目的について、他の保護者の方に知ってもらうのが大切だと思った。
- *参加する前は大変だと思っていたが、学べることが沢山で、参加して良かった。グループセッションも緊張したが発言の機会があり良かった。
- *家庭教育学級用の取組を行うのではなく、今ある学校の諸活動をそのまま家庭教育学級の取組として捉えると、肩の力を抜いた実践ができると感じた。
- *ブレイクアウトセッションでは、それぞれの学校が前向きに取り組もうとする姿勢に大変感動した。担当者としてさらに支援していけるように頑張ろうと思った。
- *今あるものに少しずつ工夫を加え、よりよくなっていくことが大切だと思う。
- *ホームページの活用が充分に出来ていないので、ぜひ積極的に取り組んでいきたい。
- *講座等は、市町村によっての考え方の違いがあると思った。
- *参集型で人が集まる工夫を具体的に知りたい。
- *すでに今年度の年間計画は決まってしまうので、事前にリーダーがこのような研修を受けられるともっと良いと思った。
- *今後、どうやって持続させて行くのかが課題だと感じた。(学級生もあまり集まらない中、どう運営するか...)
- *PTA そのもののあり方を家庭教育学級においても考えていく必要性があると思った。
- *家庭教育学級の参加率について、みんな悩んでいることがわかりました。
(小・中学校リーダー研修会より)

皆様、アンケートのご協力ありがとうございました。

紙面の都合上、ご意見の一部しか掲載させていただくことができませんでした。全員のご意見を集約した資料を添付しておりますので、以下の URL もしくは二次元コードより入っていただくと、可茂県事務所 公式ホームページ内で閲覧できるようになっております。ご活用ください。

*幼・保・こ園家庭教育学級リーダー研修会（実践発表・研修会について）



<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/450419.pdf>

*小・中学校家庭教育学級リーダー研修会（実践発表について） <下米田小>

<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/450420.pdf>

<東白川中>



<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/450421.pdf>

*研修会全体について

<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/450422.pdf>



家庭教育学級訪問・取材が始まりました！

今年度は、川辺町の家庭教育講演会からスタートさせていただきました。参加者は、地域で生涯学習や青少年育成に携わっておられる役員さんが主体でした。約1時間半の講演会でしたが、写真や音楽等をまじえ、柔らかで温かな語りをされる講師の魅力に惹き込まれ、あっという間に時間が過ぎました。「子育て真っ只中のたくさんのお父さん・お母さん方にも、是非、聴いていただきたい。」そんな思いを強くした講演会でした。

2025（令和7）年度川辺町家庭教育講演会 「発達障がいへの理解」 ～みんなでつながり、みんなで支える～

講師：国 沢 真 弓 氏

- ◇フリーアナウンサー
- ◇自閉症スペクトラム支援士
- ◇一般社団法人「発達障がいファミリーサポート Marble」代表理事
- ◇三鷹市発達障がい児親の会モンブランの会」会長

開催日時：令和7年5月11日（日） 10時半～12時
場 所：川辺中央公民館 大ホール
参 加 者：134名



・多様な社会の中で、多くの人たちが知ることが大切であり、寛容な社会となることが大切だと思いました。素敵な講演会でした。
・心が揺れた時間でした。家庭・学校・地域で温かい繋がりがつくられるように働きかけていきたいです。
(参加者の感想より)

- 1 オープニングメッセージ「みんなちがって、みんないい」 音楽・映像・ナレーションで。
- 2 発達障がいとは？ ～疑似体験もしてみよう！～
 - (1) 発達障がいとは… 生まれつきの脳の機能の障がい 原因は不明
 - <発達障がい> ①ASD（自閉症スペクトラム症） ②ADHD（注意欠如多動症）
 - ③LD（学習障がい）
 - <スペクトラム> 堺（さかい）や範囲がハッキリしていない連続しているもの。虹は色の「スペクトラム」
 - <4つの特性> ①人と上手に関われない ②コミュニケーションがうまく取れない
 - ③想像力がとぼしい、こだわりがある ④感覚がするどかったり、にぶかったり
- 3 「日常生活」に支障が出るくらい、これらの特性が色濃くでると、診断名がつくことが多い。
- (2) 「もしも、あなたに発達障がいがあったら」…の疑似体験
- 3 接し方のヒント (1) 話しかける時は… (2) わかりやすく伝えるために…
 - <お願い> 「困った子」ではなく、「困っている子」なんだと温かく見守って頂ければ…。
- 4 発達障がい児の親たち 発達障がい児の子育てでは、親に「さまざまな力」が求められます。
- 5 地域で支えていくために ①そのような子どもたちがいることを・家族がいることを知っているだけで…
 - ②多様性を実感できる地域を目指して…
 - 必要なのは、「寛容（かんよう）さ」と「伝える力」
- 6 伝える力を伸ばそう 7 ラストメッセージ「息子の障がい判った日の空」



皆さんの園・学校の家庭教育学級を、訪問・取材させていただきます。
是非、お声かけください！

News Letter

岐阜県では、毎月「家庭教育を实践する日」にあわせ、家族の過ごし方の取組例を掲載した「ニュースレター」を発行しています。ご活用ください！

岐阜県公式ホームページ
「家庭教育を实践する日」

上から三つ目のサイトの中で紹介されています。

